

道徳

中学校第2学年

OS・ソフト等

- ・Windows タブレット
- ・SKYMENU Cloud
(ポジショニング)

<単元・題材名等>

教材名「我、ここに生きる」

ねらい

霧多布で医師として働く道下医師の生き方や考え方について考える活動を通して、勤労の意義や尊さを理解し、それらに対する考え方を広げるとともに、生きがいのある人生を実現しようとする意欲を育てる。

主なICTの活用方法

- ・メンチメーターを活用した事前に実態把握したものを導入で提示する。
- ・Skyメニューのポジショニングの機能を活用し、登場人物の今後の判断について考える。

ICT通じて育成する資質・能力

- ・他者の考えと自己の考えを比較することで、自己をみつめ、勤労について、多面的・多角的に考える。
- ・自分の立場を明確にすることで、他者と自分の考えを比較し、考えを再構築する。

実践の概要

この教材は、登場人物の道下医師が、自分が思い続けていた願いを捨て、地域住民のための医療を行っていくという新たな願いをもち、生きがいのある人生をつかみ取ろうとする話である。

担任として、多種多様な他者の考えから、自分の考えを広げさせたり、物事を多面的・多角的に捉えたりすることで、よりよい人生を切り拓いてほしいと願っている。しかし、生徒一人一人は、自己の考えをもっているものの、自信のなさや不安から自己の考えを表出することに困難を抱えており、他者の考えから自己の考えを広げていくことが難しい状況にある。そのため、ICT機器を活用することで、自己の考えを発信することの困難さを軽減し、他者の考えを知る機会を増やすことができるのではないかと考えた。また、本時の価値に対する生徒の実態を事前に把握することで、生徒の考えを基に、授業を進めることができると考える。

これらのことにより、勤労の意義や尊さを理解し、自己の生き方についての考えを深められるようにする。

生徒の学びの様子

○メンチメーターという機能を活用し、事前に把握した勤労についての生徒一人一人の考えを導入時に提示することで、登場人物と自分との共通点や相違点について考えながら学ぶことができた。また、終末にて、自己の振り返りを行う際、これまでの自分の考えと本時の学びを通して変容したことを具体的に表現することができる生徒が増えた。

○ポジショニングの機能を活用し、自分の立場を明確にして交流することで、登場人物の置かれている状況や葛藤について他者の考えから捉えることができた。仲間の考えを基に情報を整理することで、多面的・多角的に考えることもできた。



指導のポイント

- 導入時に事前に把握（メンチメーターにて）した勤労についての生徒一人一人の考えを提示することで、教材を通して考えの変容を捉えさせることができ、効果的である。
- ポジショニングの機能を活用し、登場人物の今後の判断について考えさせることで、登場人物の置かれている状況や葛藤について捉えたり、多面的・多角的に考えたりする面では有効な手立てである。